

深谷市社会教育委員コーナー



深谷市では、社会教育法第15条の規定に基づき、社会教育行政に広く地域の意見などを反映させることを目的として深谷市社会教育委員を委嘱しています。深谷市社会教育委員は、各地区公民館選出のかたに加え、学校教育・人権教育・PTA・青少年健全育成に関する各組織から選出されたかたなど、19名で構成されています。

社会教育委員には、住民の意向を教育委員会や社会教育行政に届けるという役割があります。深谷市社会教育委員会では、こうした役割に基づき、社会教育に関する調査・研究を重ねたうえで、教育委員会に対して「提言書」を提出しています。

令和4年6月に教育委員会へ提出された最新の提言書は、「深谷市公民館の更なる発展に向けて」をメインテーマとし、「これまでの公民館を振り返り、これからの公民館を考える」と「非常時の公民館運営を考える」の2つのサブテーマから構成されています。「これまでの公民館を振り返り、これからの公民館を考える」をサブテーマにしたグループでは、市内全12公民館に対してのアンケートや聞き取り調査を行い、課題抽出と課題解決に向けた方策についてまとめています。また、「非常時の公民館運営を考える」をサブテーマとしたグループでは、防災計画での公民館の位置づけや災害時の避難所としての役割について調査・研究した成果についてまとめています。

提言書は、教育委員会ホームページに全文を掲載していますので、ぜひ、スマホ等で以下のQRコードから、ホームページにアクセスしてご覧ください。

深谷市教育委員会ホームページQRコード



ホームページ URL : https://www.education.fukaya.saitama.jp/?page_id=242



【会議の様子】



【グループリーダーによる提言の発表】



【教育長への提言書の提出】

「公民館」ってどんな施設？

市内12地区には、それぞれ公民館があり、日頃、公民館は、地域住民の学習や交流の場など、地域づくりの拠点として、また、災害時には、公民館が避難所になるなど地域防災の拠点として、大きな役割を担っています。



【岡部公民館】

特に、深谷市の公民館は、各館それぞれに、体育室や多目的室、調理実習室、美術工芸室、会議室など、多様な施設を備えていますので、市民の様々な学習ニーズに合わせて利用することができます。皆さん、ぜひ、公民館をご利用ください。



家庭教育だより

まごころ



編集・発行 深谷市教育委員会 生涯学習スポーツ振興課

家庭教育だより「まごころ」編集委員会

〒366-8501 深谷市仲町 11-1 TEL048-572-9581



No.50

令和5年3月号

近年、ゲームやスマホ（スマートフォン）等への依存が大きな社会問題となっています。成長途中の子どもが、ゲームやスマホ等に依存してしまうと、脳の発達に大きな影響を与えてしまうおそれがあります。深谷市では、「安心ふっかネット」を通じて、インターネット等の正しい使い方に関する啓発活動に取り組んでいましたが、改めて今号では、子ども達がゲームやスマホ等と上手に付き合うための親の関わり方について、記事を取り上げてみました。参考にしてみましょう♪



スマホに係る子どもとの関わり



スマホ等の普及で家庭の固定電話が減り、街角の公衆電話も見かけなくなりました。スマホは、コミュニケーションツールだけでなく様々なアプリが増え、ニュースや映画視聴に音楽やゲーム、ショッピングまでできてしまい、生活するうえで大変便利な物になっています。今の子どもは、小さなときからスマホを見て育ち、スマホの存在が当たり前になっており、スマホの利便性については誰もが認知するところですが、その危険性については誰もが十分理解しているわけではありません。子どもの誤った使い方によってトラブル等に巻き込まれることもあり、契約者である保護者の責任において適切な対応が求められる場合もあります。

子どもにスマホを持たせるかどうかはそれぞれの家庭で違って良いと思います。「いつでも連絡取れるから安心」と親子の連絡手段としてスマホを持たせているという考えもありますが、スマホの利便性や危険性を理解したうえで、必要性について判断してみたいでしょうか？家庭で子どもの意見を取り入れながら利用に関するルールを決め、守れなかったときには定期的に見直すことも必要です。スマホを持たせる前に親子で話し合い、コミュニケーションを取っていきましょう。

好ましいルールづくりに当たっては、日ごろから「我が子を守る」親の愛情ある言葉かけが大切であり、子どもにとって「愛されている」と思えるものであってほしいと思います。これからも親子で話しやすい家庭の雰囲気づくりを大切にしてください。



家庭教育アドバイザー 新井 美智子



まごころクイズ



2024年上半期に発行予定の新一万円札の肖像が渋沢栄一翁になりますが、一万円札の歴史上何人目になりますか？

① 2人目

② 3人目

③ 4人目

④ 5人目

QRコードから応募または、ハガキに『郵便番号、住所、氏名、連絡先、ご感想やご意見』を明記のうえ、令和5年3月15日（水）（消印有効）までに以下のあて先へ。正解者の中から、抽選で3名様にふっちゃんグッズをプレゼントします。

深谷市教育委員会生涯学習スポーツ振興課「まごころ」担当へ

TEL 572-9581 アドレス syogai@city.fukaya.saitama.jp





タブレットと上手に付き合うコツは！？



タブレットを机の上に平らに置いて、上からのぞきこむ姿勢は、画面に天井の照明が映り込んで見えにくいばかりか、無理な姿勢で体が疲れます。画面を見るときは、いすに深くすわり、いすの背に背中をつけ、膝が床から直角になる高さにします。机の高さは、机に手を置いたときに、肘が直角になる高さ、画面の角度は、目線と画面を垂直にします。顔が画面に近づきすぎないように、30cm以上離しましょう。30分見たら、20秒以上遠くを見て、目を休ませます。画面からは強い光が出ています。寝つきが悪くなるので、寝る1時間前から使用をひかえましょう。

タブレットの使用で、近いところを見続け、一定の姿勢を取り続ける時間が増えることで、眼精疲労や頭痛、肩こりなどを引き起こすことがあります。外に出て遠くを見たり、体を動かしたりすることは、とても大切なことです。近視の人は、将来、様々な目の病気にかかる率が、近視がない人と比べて高いことがわかってきました。日陰でも良いので太陽光のもと、1日2時間程度過ごすことで、近視の進行抑制に効果があるとされています。

ご家庭で、自分のゲーム機、自分のスマートフォンを持つときは、ルールづくりのよい機会です。親子で話し合い、お互いが納得できるルールをつくりましょう。一方的に、親が決めたり、子どもの言いなりになったりすると、長続きしません。ルールが守れなかったり、お子さんが成長したり、生活習慣が変化したときには、ルールの見直しをしましょう。ルールとともに、自然体験、体を使った経験、人とのコミュニケーションも大切にしましょう。様々な実体験は、インターネットのなかで困ったときの、正しい判断力につながります。成長期には、必要なときだけタブレットを上手に使い、外に出て体を動かし、現実の経験を積みましょう。

(文：市内中学校養護教諭)

親子でクッキング♪

冬野菜のごまマヨ和え

(材料) 5人
 ブロッコリー 200g
 ほうれんそう 100g
 にんじん 20g
 糸かまぼこ 30g



(かにかまやかまぼこを千切りにしてもOK！)

和える調味料

マヨネーズ 大さじ2
 しょうゆ 小さじ1
 さとう 小さじ1/2
 すりごま 小さじ1



調味料は野菜の量によって調整しよう♪



(作り方)

- ① ブロッコリーは小房にしてゆでる。
- ② ほうれん草はゆでてから、食べやすい大きさに切る。
- ③ にんじんは千切りにし、さっとゆでる。
- ④ かまぼこは細かく裂いておく。
- ⑤ 調味料を混ぜ合わせ、野菜と和える。
- ⑥ ごまをふる。

深谷市の美味しいブロッコリーやほうれん草で作ろう！
 ブロッコリーのビタミンやミネラルは野菜の中でもトップクラスだよ！



給食の内容を知らせる ICT の活用

市内 29 校の小中学校に「ふかや園芸協会」のみなさんが、深谷市のおいしいブロッコリーやねぎを年に数回無償で提供してくださっています。学校では、子どもたちに深谷市で生産される野菜のこと、ふかや園芸協会のみなさんのおかげでおいしい野菜が食べられることを給食の時間に動画で伝えています！



(文：市内小学校栄養教諭)



子育てのおもいで



市民のかたからご応募いただいた「子育てのおもいで」作品を紹介します。

子育て日記が、12冊目に突入しました。子どもに、ぐるぐるとペンで描かれたページもありますが、それも思い出です。イライラした日の夜には、日記を読み返しながら、子どもの寝顔を見て、手をつなぎ幸せな気分で寝る事が1番です。子どもの成長は本当に早く、2才だった娘に「3才の次は4才で、4才の次は5才で、早いよーっ」と言われた日の事を思い出します。小2と小6の娘達は「〇〇ちゃんちのママは優しい」なんて言っているの、私は「優しいママは難しいから、面白いママでいくからね」と宣言しました。

川本地区 Sさん 応募作品

子育て日記が12冊目とはすばらしいです。日記で子どもたちの成長を振り返ることができます。お母さんは子どもを優しく見守り、コミュニケーションがとれています。子どもたちの成長は早く感じます。これからも、子どもたちの成長を優しく見守りながら、思い出をたくさん作れるとよいですね。



埼玉県
家庭教育アドバイザー



じまん
【わが校自慢】

深谷中学校

校訓 独立自尊・共存共栄



学校教育目標

志高く

自ら考え 学び続ける生徒
 心豊かで 思いやりのある生徒
 体を鍛え やり抜く生徒

校区内に3つの小学校があり、それぞれの学校と地域の中で育まれた子供たちが集う深谷中学校には、これらの時代に求められる豊かな多様性[Diversity]が溢れています。そうした多様性の中で、生徒たちが自分とは異なる個性を認め尊重し、力を合わせて“深中”としての文化を創造し続けています。特にその過程で意識して取り組ませているのが、『構え』をもつということです。

本校で大切にしている『構え』とは、集会等に臨む際の前向きな心構えと、それを行動で見える化する態度です。より善い集団であろうとする一人一人の自覚と行動が、先輩から後輩へ引き継がれ“深中”の文化を創ってきました。しかしこの2年間はコロナ禍のため全校が揃って行事や集会ができず、深中生の『構え』を継承できなかったと感じていました。しかし、今年度3年ぶりに全校生徒が揃って実施した体育祭や音楽会では、最上級生である3年生が自分たちで“あるべき深中生”の姿を考え、練習のときから具現化して後輩に示してくれました。特別な行事では見られなかった先輩の『構え』の姿を、日常の中からとらえ継承してくれていたのです。

困難な中にもあってもあきらめず一人一人が考えて行動する深中生の『構え』と、多様性のある個を活かし協働する“独立自尊と共存共栄の深中文化”こそが、わが校の自慢です。



【校内音楽会】



【校内体育祭】



【ZOOMによる生徒総会】



【1年生との対面式】